

	A	B	C	D	
1				<様式11-1>	
2		令和7（2025）年度	学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書		
3				清水児童館	
4	生活 援助 機能	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題	
5					
6	生活 援助 機能	安全・衛生の確保	登下館時の安全指導	入学して1週間は学校が取りまどめの上、職員が迎えに行き下校、道中安全確認が必要な場所等を伝える。以降は2人以上で帰るようにと言う学校の指導の下、帰ってくるようになるが、道中でのトラブルは多々あった。都度職員が出て対応した。また不審者情報や蜂が出て帰り道が危険な場所があった時は、学校と連携して対応した。	
7			手洗い・うがい・消毒の慣行	毎日声掛け、慣行しない子どもには必要性を伝え続けた。おおむねできている。	
8			ハンカチ・ティッシュの携帯指導	保護者に周知しているが持参しない児童が多い。引き続き声掛けをし必要性を伝えていく。	
9			挨拶の慣行	登館時・下館時に職員が対応、定着してきている。	
10			片付け・整理整頓指導	学校指定の持ち物が多く、また制服・制帽があるため他児の物と混同しやすい。自分の物はしっかりロッカーに入れるよう声掛け、遊びの切り替わり時に職員から服装や使わない物について声掛けをした。おもちゃは保育スペースの全体把握をする職員から都度声掛けをし、こまめに片付けるよう指導した。	
11			子ども状況等の把握	職員を各室に配置、また各職員の持ち場だけでなく、連携を心掛け全体的な状況把握に努めた。	
12			健康の管理・情緒の安定	安全と衛生及び健康管理	咳がひどい子や急な寒暖差等で不調が長く続く子等、個別必要な対応を取った。気温が高くなり熱中症の危険性がある時期はこまめに確認、遊びの実施、塩分チャージを配る等の対応をした。
13			遊びの指導と声かけ		外遊びが建物の屋上になるため、夏期は熱中症の危険があり使用できない。夏休みは隣接の庁舎内にある体育館を借り、運動遊びの環境を整えた。子ども達のやり取りを聞きながら、みんなで気持ちよくあそべるようにするにはどうしたらいいかと投げかけ、話し合う機会も設けた。
14			おやつ提供		疾病感染予防・アレルギー対応を前提におやつ時は黙食、机は一人一台とした。重篤なアレルギーのある児童の登録があるため、入会説明会、うえぶさくらなどを通して、各家庭へアレルギー物質の持ち込みが無いようお願いをした。当該家庭にはおやつ献立表を事前に渡し問題ないか確認いただいた。子ども達には食べ終わった後の手洗いの徹底を伝えた。食べたことがないためにおやつを拒否することも多いが、アレルギーのあるものでなければ少しだけ食べてみようと呼びかけをした。苦手なものが多い児童には個別対応をした。
15			社会生活技術の獲得	習慣づくりの指導と援助 (時間の管理・学習時間の設定・朝の会)	6年生までの登録がある中、放課後の時間が短いことは変わりなく、全体で動く設定は少なくし、自身でどのように時間を配分するか考えられるようにしている。館内では落ち着かない子も居る中、図書館が寛大に見守ってくださるので、図書館の利用も増えた。
16	日々の生活における様々な個別対応		介助対象児童が多い中、職員数が足りないときは連携しながら見守りをした。子ども達の間で助け合う関係も構築されてきている。日々の見守りの中で子ども達の様子を昼礼で共有し、一人ひとりに必要な対応を考え実施した。		
17	子 ども 育 成 機 能		体育館遊び	いつものテラス遊びよりもはるかにスペースが広くなり、同じ遊びでも全く違う体験になった。チームで協力・作戦を考えられる遊びが特に盛り上がった。最後の片付けも自分から進んでやれていた。	
18		館外活動「宝ヶ池公園子どもの楽園」	6月学校代休日、午後から宝ヶ池公園にお出かける。暑さに弱い子どもも多いため、熱中症対策を館で準備、保護者にもお願いしての実施。日常的に自然の中で遊ぶことがなかなかできない地域なので、子ども達は存分に体を動かして遊んでいた。帰りのための体力を残すため、2時間半程度になっているが、帰りの電車で疲れた1年生が寝てしまう。		
19		社会性の養成	入会式	当日の司会を子ども達から募集し、その中で役割分担をして臨んだ。子ども達中心の子ども達のための式として展開。子ども達の遊びの発表はやりたい子どもがたくさん参加できる機会になった。保護者の方も温かく見守り、喜んでくださった。	
20			修了式	子ども達の今年一年を振り返り、一人ずつ職員からのメッセージと写真の貼ったカードを渡す。写真をお互いに見せ合ったりして楽しんでいた。またこの日のおやつには卒業になる6年生の希望する思い出のおやつを用意し、とても喜んでくれた。	
21			お誕生日やデー	ひとりひとりの好きなおやつを誕生日に出した。パースデーカードはその子のために写真を撮り、お祝いをした。お誕生日インタビューを通してそれぞれのことをよく知るきっかけになった。	
22		自立の促進と自主性の尊重	縁日話し合い	内容について職員から大枠を伝え、子ども達から案を出した。穏やかに話し合い、譲り合うことのできるメンバーで、拗れることなくスムーズに進んだ。話し合いの中でそれぞれの個性があらわれ、發揮できていることを感じられた。	
23		学童縁日	それぞれ役割を持った実行委員が自主的に動き、玉入れ、輪投げ、ヨーヨー釣り、おやつビンゴを楽しんだ。実行委員はそれぞれ進んで動く姿が見られ、そのほかの子もこの日だけの特別な遊びを喜んでくれた。		
24	子 育 て 支 援 機 能		お弁当いらんデー	夏休み最終日、春休み代休日などが主。内容は数種類の中から一人一人が選ぶ。今回初めて注文する店も複数あり、子ども達も楽しみにしていた。子ども達の意見を取り入れながら発注先を考慮した。	
25			個人懇談	6月、11月と実施。子ども達の成長を伝え、保護者の思いをうかがい、日々の保育内容に活かすことができた。	
26		子育てに必要な情報の提供	小学校との連携	学校担任、保護者を交えて当該児童の様子を共有し、支援方針、支援内容に活かすことができた。	
27		と交換	専門機関との連携	個別対応が必要な児童について、保護者、はぐくみ室と連携。月に1回ほど現状確認のため話し合い、支援の輪を広げることができた。	
28			入会説明会	新入会家庭を対象に実施、一堂に顔合わせ、清水児童館での保育を具体的に伝えられた。また継続登録される家庭においても利用の手引きとして配付した。	
29		子育てを支えるネットワーク形成	新入会児童面談	登録申請をされた新入会家庭保護者と、受け入れ前に面談。家庭での様子、成長歴などを伺い、受け入れに伴っての懸念点や、支援シートがあれば提出いただきたい旨を伝える。事前に話すことで、保護者の要望を把握、園との連携を深めるきっかけになった。	
30		子育ての仲間づくり	新入児童の保育園との連携	保護者との面談後、担当職員が各保育園に児童の様子を見学に行った。担任と個別で話し合い、保護者視点だけでなく保育者視点での注意点も伺う。事前に園での対応の仕方、過ごす姿を見る、また子ども達に顔を覚えてもらうことができた。	
31		なかよし発行	お便りを通して表面では月ごとの予定を伝え、裏面では子ども達の日々の様子を伝えた。保育の様子を写真付きの壁面を作り、関心を持って見てもらえるように展開した。		

令和7(2025)年学童クラブ事業年間活動報告書

清水児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中高生	大学生	大人				
生活援助機能																
登下館時の安全指導	292															1年生を中心に登下館の安全について指導する 手洗い、うがい、消毒の習慣を定着させる 衛生管理の為ハンカチ、ティッシュを各自持参する 挨拶の習慣をつける 自分の身の周りの片づけや整理整頓の指導を行う 各室に職員を配置し子どもの状況管理を徹底する 感染症対策や安全管理を徹底する 適切な遊びの提供や指導を行う 毎日の補食としてのおやつを提供を行う 宿題の場所の提供や声掛けをし、習慣作りを行う 児童、保護者への対応等の確認
手洗い・うがい・消毒の慣行	292															
ハンカチ・ティッシュの携帯指導	292															
挨拶の慣行	292															
片付け・整理整頓指導	292															
子どもの状況等の把握	292															
安全と衛生及び健康管理	292															
遊びの指導と声かけ	292															
おやつ提供	292															
習慣づくりの指導と援助	292															
(時間の管理・学習時間の設定・朝の会)																
日々の生活における様々な個別対応	292															
子ども育成機能																
入会式	1	12	9	6	7	3	2						17	56	新入会の児童のお祝いをする	
1年生集団迎え	6	65												65	入学式以降1週間学校への迎え	
お誕生日やデー	34	287	224	168	133	40	41							893	お誕生日のお祝いをし、その児童のリクエストしたおやつを食べる	
館外活動「宝ヶ池公園子どもの楽園」	1	8	5	5	4	1	1							24	小学校代休日の館外活動	
体育館遊び	11	82	55	51	42	18	16							264	体育館を借りて運動遊びをする	
縁日話し合い	3			6	2	2								10	学童縁日直準備・打合せ	
縁日遊び	1	7	5	5	5	3	3		2					30	夏休み最終日に子どもが提案し準備をしたコーナー遊びを展開	
修了式	1	11	9	5	5	2	2							34	学童クラブの修了をみんなでお祝いする	
子育て支援機能																
個人懇談	28													32	32	保護者と児童の情報共有をする
新入児童の保育園との連携	3															新入会予定児童の保育園見学、担任との情報共有
新入会児童面談	6													8	8	新入会児童受け入れ前の保護者面談
入会説明会	1													8	8	学童クラブ入会に際しての説明会
お弁当いらんデー	4	42	29	22	18	10	9							130	130	館で昼食を発注し保護者の負担を減らす
専門機関との連携	3													3	3	はぐくみ室心理士との懇談
なかよし発行	12															毎月学童クラブのお便りを発行する
小学校との連携	10															小学校とおたよりのやりとりや情報交換をする

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入